

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 12 日現在

機関番号：44417

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2011～2014

課題番号：23652197

研究課題名(和文) ウィチョール族文化の既製品化と先住民社会への利益還元に関する文化人類学的研究

研究課題名(英文) A Cultural Anthropological Study of Changes from Huichol Culture to Commercial Items and Profit Return to the Indigenous Society.

研究代表者

山森 靖人 (YAMAMORI, YASUHITO)

関西外国語大学短期大学部・英米語学科・准教授

研究者番号：50390133

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究はメキシコ先住民ウィチョール族社会における民芸品販売の現状に関する調査研究である。ウィチョール族は1960年代に民芸品の製作販売を始め、現在、彼らの毛糸絵やビーズ細工はメキシコの最もポピュラーな民芸品であり、ウィチョール族の現金収入源のひとつとなっている。しかし、今回の調査によって、彼らの民芸品販売が不安定な商売であり、ウィチョール族社会に十分な利益をもたらしてはいないことが明らかになった。さらに、商売敵の増加が予想され、民芸品販売がウィチョール族社会における生業とはなり難いことが判明した。

研究成果の概要(英文)：This investigation is a study that specializes in an aspect of the folkcraft goods sale in the Mexican indigenous "Huichol" society. In 1960s the Huichol began making and selling their folkcraft goods. At the present time their yarn painting and beadwork are one of the most popular folkcraft goods in Mexico, and are a source of income for them. However, this investigation revealed that because their folkcraft goods sale is an unstable business, it is not beneficial for the Huichol society. In addition, because their competitors are expected to increase, it will be difficult to the business becomes the most important source of income in the Huichol society.

研究分野：文化人類学

キーワード：ウィチョール族 メキシコ先住民 民芸品 生業 近代化

1. 研究開始当初の背景

(1) ウィチヨール族に関する本格的な先行研究は、Peter T. Furst や Barbara G. Myerhoff から米国人研究者によって始められ、ウィチヨール族のペヨーテ巡礼などの宗教儀礼やシャーマニズム、あるいは彼らの神話や世界観に焦点を当てたものが大部分であった。近年、Jesús Jáuregui や Johannes Neurath からメキシコ人あるいはメキシコに拠点を置く研究者によって活発に進められた文化人類学的な調査研究についてもその傾向は継続していた。

(2) ウィチヨール族の民芸品についても、毛糸絵やビーズ細工に表現された彼らの世界観や神話的世界に関する先行研究は非常に多い。一方、それら民芸品が持つ現金収入源としての側面については詳細に調査されていなかった。先行研究において、大農園などへの出稼ぎや民芸品の製作販売がウィチヨール族の現金収入源となっていることについて言及されているが、彼らの生業や経済活動についての実態を扱った先行研究はほとんど見られなかった。

(3) 研究代表者山森は、本研究を始める以前、ウィチヨール族の宗教儀礼や口頭伝承などに関する調査研究を進めていた。本研究を開始する直近では、ウィチヨール族の民芸品である毛糸絵とその毛糸絵をテーマとして出版された絵本についての調査を行い、毛糸絵などの民芸品が、都市部におけるウィチヨール族の新たな伝統文化継承の形態であることを考察した。しかし、民芸品のもつ経済的な側面、彼らの重要な現金収入源、すなわち生業となる可能性についてはまったく考慮していなかった。

(4) 近代化に伴いウィチヨール族の生活圏は村落部から都市部へ拡大し、さらに貨幣経済が彼らの社会に急激に浸透しつつあった。そのような状況のもと、ウィチヨール族研究において新たなテーマ、とりわけ近代化に伴うウィチヨール族社会の変容に関する調査の必要性を感じ、彼らが手掛ける民芸品の製作販売の現状についての調査研究、すなわち毛糸絵やビーズ細工の製作販売がウィチヨール族社会に十分な利益をもたらすものであるのか、あるいは将来的にその可能性があるのかについての調査研究を希望した。

2. 研究の目的

(1) ウィチヨール族社会において、民芸品である毛糸絵やビーズ細工の製作販売によって現金収入を得ることはかなり一般化していた。しかし、ビーズ細工や毛糸絵がどのように製作され、また販売されているのか、

その実態については報告されていなかった。そこで、彼ら、あるいは非ウィチヨール族(メスティソ)がどこで、どのような方法で民芸品を製作し、それらを販売しているのか、その現状を明らかにすることを本研究の第一の目的とした。

(2) 毛糸絵やビーズ細工などウィチヨール族の民芸品のデザインやモチーフが、近代産業の既製品(装飾品や衣類、文具、玩具、書籍など)に転用されて販売されているケースがしばしば確認できた。毛糸絵やビーズ細工が既製品化されることで、ウィチヨール族の民芸品は、民芸品ではない形でも利益を生み出すものとなっていた。彼らの民芸品が既製品に転用されている現状を把握することを第二の目的とした。

(3) 民芸品の製作販売や民芸品の既製品化が、ウィチヨール族社会に大きな利益をもたらす生業となっている、あるいは今後になり得るものであるのか、もし、それらがウィチヨール族社会に利益やメリットをもたらすものでないのであれば、今後、どのような手段でウィチヨール族社会への利益還元が実現可能であるのか、その方策を探ることを第三の目的とした。

3. 研究の方法

(1) ウィチヨール族の民芸品製作現場、および、彼らの民芸品や民芸品を転用して製造された既製品の販売現場を訪問してフィールドワークを実施した。フィールドワークの手法は主にインタビューと観察による。訪問場所は以下の16の都市や村である。Ciudad de México、Guadalajara、Zapopan、Puerto Vallarta、Cancún、Acapulco、Puerto Escondido、Ixtapa-Zihuatanejo、Tepic、San Blas、Real de Catorce、Zacatecas、Cuernavaca、Taxco、Oaxaca、Tuxpan de Bolaños。

(2) ウィチヨール族の暮らす先住民共同体内における民芸品をとりまく状況を確認するため、彼らの村落(Tuxpan de Bolaños村)において、民芸品製作者へのインタビューを実施した。さらに、雑貨店や食料品店などの商売を手掛けるウィチヨール族へのインタビューを行い、先住民共同体内での民芸品販売の状況を確認した。

(3) ウィチヨール族が多く居住する大都市(Ciudad de México、Guadalajara、Zapopan)および、地方都市(Zacatecas、Tepic、San Blas)において、民芸品の製作と販売の現状を知るため、それらに携わるウィチヨール族にインタビュー調査を実施した。さらに、民芸品市場や屋台、民芸品店、博物館の売店などを訪問し、ウィチヨール族および非ウィチ

ヨール族の販売員・店員、さらには店を訪問していた観光客へのインタビューを行い、ウィチヨール族の民芸品やそれを転用した既製品が販売されている現状を確認した。

(4) ウィチヨール族とは特に歴史的・文化的な所縁のない観光地で、彼らの民芸品やそれを転用した既製品が販売されている現状を知るため、メキシコの主要なビーチリゾート型の観光地 (Cancún、Puerto Vallarta、Acapulco、Puerto Escondido、Ixtapa / Zihuatanejo) を訪問し、民芸品店の店員 (非ウィチヨール族) や店を訪問していた観光客へのインタビューを実施した。

(5) 同じく、コロニアル都市型の観光地 (Real de Catorce、Cuernavaca、Taxco、Oaxaca) におけるウィチヨール族民芸品とそれを既製品化した商品の販売の現状を知るため、民芸品店の店員 (非ウィチヨール族) や店を訪問していた観光客へのインタビュー調査を実施した。

4. 研究成果

(1) ウィチヨール族の先住民共同体自体の観光化はそれほど進んでいない。そのため、彼らの村落において、民芸品の製作に携わるウィチヨール族は極めて限定的である。すなわち日常的に村落と都市部を行き来する人物に限られていることが明らかになった。また、Tuxpan de Bolaños 村では民芸品の販売がほとんど確認できず、日用雑貨店でごく少量が販売されているだけであった。一方、近年、主要なウィチヨール族集落 (San Andrés Cohamiata) を訪問するエスノツーリズムが始まっている。今後、ウィチヨール族村落を訪問する観光事業が拡大することにより、彼らの村落での民芸品の製作販売が活性化される可能性があることが明らかになった。

(2) Ciudad de México や Guadalajara などの大都市部におけるウィチヨール族による民芸品の製作販売は、商売としての規模は非常に小さく、主に家族や親族単位で実践されていることが判明した。彼らが民芸品を製作販売する場所は、民芸品市場内の売店ブースや街中の広場や大通りに出した露店に限定されている。また、ウィチヨール族間で、出店場所確保の競争が激しく、民芸品製作販売の商売を新規に始めることはかなり困難な状態であることが明らかになった。すなわち、大都市部においてウィチヨール族自身が実践する民芸品の製作販売は、非常に不安定であり、彼らの社会に恒常的に大きな収益をもたらすものとはなり得ていないことが判明した。

(3) 一方、Cancún や Puerto Vallarta などのビーチリゾート型の観光地、あるいは Real

de Catorce や Cuernavaca などのコロニアル都市型の観光地では、非ウィチヨール族がウィチヨール族から民芸品を買い上げ、常設の民芸品店舗にてそれらを販売する形態が主となっている。また、民芸品のみならず、それらをもとに製造された既製品の販売もしばしば確認できた。非ウィチヨール族によるウィチヨール族民芸品販売は、ウィチヨール族自身が手掛ける商売より大規模かつ効率的である。毛糸絵やビーズ細工をアートのように見栄えよく展示し、ウィチヨール族の民族衣装を着た人物 (非ウィチヨール族である可能性が高い) によるビーズ細工の製作実演、さらにはスペイン語や英語で出版されている書籍や自家製の配付物 (ウィチヨール族文化の解説書) を用いて、店を訪問した観光客に巧みに民芸品の紹介・売り込みを行い、店舗に客を集め、単価の高い民芸品を販売することに成功している。つまり、彼ら非ウィチヨール族は、商品そのものだけではなく、先住民との交流体験や民芸品をとりまく先住民社会に関する知識やストーリーなどの付加価値を活用することで商機を広げること成功していることが明らかになった。

(4) 民芸品の製作販売はウィチヨール族社会に直接的な利益をもたらしてきた。しかし、その利益は、民芸品の製作販売に携わる者が生活できる最低限程度のものであり、ウィチヨール族社会に余剰利益を生むものではない。彼ら以上に非ウィチヨール族による民芸品販売が利益を上げているのが現状であり、民芸品を既製品化した商品については、その出どころであるウィチヨール族社会に利益をもたらすものとはなり得ていないことが明らかになった。

(5) 既にウィチヨール族の民芸品はメキシコを代表する民芸品・お土産品と認知されている。その結果、ウィチヨール族民芸品の販売は拡散・規模拡大し、ウィチヨール族のみならず、非ウィチヨール族の商売敵の増加をもたらしている。ウィチヨール族よりも巧みに客を獲得する彼らの商売が、ウィチヨール族が手掛ける細々とした民芸品製作販売に今後より一層のダメージを与える可能性が高い。ウィチヨール族自身が民芸品による収益を増やすためには、非常に困難であると予想されるが、根本的に彼らの商法を改める必要がある。シンプルで作りやすいが単価の安い民芸品 (ビーズ細工の装飾品) を中心に販売する方法から、ウィチヨール族であることを活かし、民芸品にプラスアルファの付加価値 (民芸品が秘めた意味や彼らとの交流経験など) をつけることを試み、より高額な民芸品を販売する必要があるだろう。さらに、民芸品の製作現場や販売現場において、ウィチヨール族同士の共同体制を築くことも有効だと思われる。

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

山森靖人、ウィチヨール族民芸品販売の現状と問題、関西外国語大学研究論集、査読有、101号、2015、121-138

〔学会発表〕(計2件)

山森靖人、神話売る方法 メキシコ先住民ウィチヨール族の事例報告、日本昔話学会2013年度研究大会、2013年7月7日、関西外国語大学中宮キャンパス(大阪府枚方市)

山森靖人、ウィチヨール族社会における民芸品製作販売の変遷、日本文化人類学学会第46回研究大会、2012年6月23日、広島大学東広島キャンパス(広島県東広島市)

6. 研究組織

(1)研究代表者

山森靖人(YAMAMORI, Yasuhito)

関西外国語大学短期大学部・英米語学科・准教授

研究者番号：50390133